

B 生物育成の技術

学年	第1学年 7～12月	内容	生物育成の技術
生徒に身に付けさせたい資質・能力（何ができるようになるか）			
<p>生物育成の技術の基本的な知識や技能を学び、地域の問題を発見し、解決する作物を育てる。 →本質的な問い：生物育成の技術によって、安全で安定した高品質な作物を供給するにはどうすればよ いだろう</p>			
授業で働かせる見方・考え方		授業内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会からの要求 自然環境や特産品を生かした美味しい作物を育てたい。自然環境を整えたい。 ・安全性 安心して食べることができる作物 ・環境への影響 他の生物への影響が出ない栽培方法 		1時：アンケート、地域の現状、生産物の確認	
		2,3時：管理作業について調べる	
		4,5時：地域の問題発見、課題の設定 栽培計画の作成	
		6時：環境整備、種まき	
		7～15時：手入れ、観察、修正、改善、収穫	
		16時：実践に対する評価	
		17～18時：よりよい生活、評価	
問題発見の資料	生物育成に関する地域の現状		
見方・考え方を働かせている生徒の姿			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化や自然環境にあった作物について考え、適切な栽培計画を作成できている。 ・求められる品質の野菜を育成するためにどのような手立てが必要かを考え、まとめられている。 ・課題解決の実践を通して、未来の生物育成の技術について、考えることができる。 			
議題	生物育成の技術を使って、自分の生活スタイルに合った作物を育てよう		
解決方法の 検討・計画	<p>生物育成の技術の知識を習得後、地域の問題をいくつか発見させ、活用シートに記入させる。その中で生物育成の技術を活用して解決できるものを今回解決したい課題とさせる。収穫までの栽培計画を構想し、作成させる。栽培計画のもとに適切な管理作業を行い、作物を栽培する。</p> <p>課題解決に用いる教材：個人用ビニル型プランタ、支柱、防虫ネット</p>		
生徒に実践活動を評価・改善させる方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・育成計画の中で必要な管理作業が適切な時期に計画できているかチェックさせる。 ・タブレットを用いて作業記録や写真撮影を行い、栽培計画表を作成させる。 ・起こったトラブルに対して、準備していた管理作業を行うことができたかチェックさせる。 ・想定外のトラブルが発生したとき、書籍やインターネットで調べたり詳しい人に尋ねたりするなど対応を考えておくようにする。 			